

Move On

文化祭ふり返し作文 Part 1

私は、文化祭の取り組みで、友呂岐生が一人ひとり主役になることで、素晴らしい物を作り上げることができるのだという事をとっても感じました。

文化祭の中でもたくさんの演技があり、その中で照明係、道具係などの人たちはあまり他の学年の人の前に出ることは少ないです。ですが、それらの係がいなければ、完璧な演技・文化祭にはつながりません。41期生全体で協力することによって、私たちの演技は、より素晴らしいものへと変わっていったのだと思います。

一人ひとりが輝く文化祭になるまで、たった2週間しかありませんでした。その短い機関の中では、より計画的・協力的に文化祭に取り組まなければいけません。準備期間の中でも、自主性やコミュニケーション能力が高まり、より41期生や友呂岐全体で大きく成長できた文化祭だと感じました。

1組 さん

今日の文化祭はすごかった。例えば3年生の劇。一人ひとりがセリフを覚えて、何百人もの前で発表する。とてもすごいと思いました。他にもヲタ芸も全員がきれいにそろっていた。

しかし、このような素晴らしい演技はどうやって出来たのか。私は準備をしっかりと頑張ったからだと思う。もし、準備からしっかりやっていたらセリフだって、振り付けだって、歌詞だって覚えられない。前もって準備をすることで本番、素晴らしい演技が出来ると思う。

僕は、この文化祭を通して日頃の取り組みが大事だと思った。僕は最初の練習の時は音程がずれていた。いつ、どのタイミングで動くかも分からなかった。でも日頃の練習のおかげで本番、素晴らしい演技ができた。

だから僕は、これからも「日頃の取り組み」を大切にしたい。

1組 さん



私は、文化祭を通して感じたことは2つあります。

1つ目は、練習の時に感じたことです。僕は、初めは文化祭に消極的でした。しかし、周りのみんなが次第に本気になるにつれて、自分も影響されていき、最後にはどうやったら良い物をみんなに見せられるだろうかという考えになっていき、周りの人と1つの作品を作るのは、こんなにも楽しいものなのかと気づきました。

2つ目は、本番についてです。僕自身、緊張なんてする訳ないと思っていただけ、いざ踊り始めると、みんなが自分を見ていると思い極度の緊張状態になりましたが、反対側にいる、合奏隊の人たちの顔を見ると力抜けて楽しく演技ができました。

最後にみんなで1つの作品を創るのは本当に楽しいことだと改めて実感出来ました。

1組 さん



1つ目は、連携力です。島唄は、自分の目では見られなかったですが、「イーヤーサーサー」や、歌や音が揃っていたことです。そして、新宝島はすべての2年生がやることができました。しかも、自分たちの最後の演技でもありましたが、しっかりダンスなど揃っていたのでベストな形だったと思いました。

自分達のヲタ芸は、結構落ち着いて出来ていたし、しっかりやり切れた。

最後に文化祭をこの中学校でできるのはあと1回しか無いと思うとなんだかさみしくなりました。さみしいということは、楽しかったということなので、またさみしく思えるような文化祭にしたい。

2組 さん



私は文化祭を通して、自分もみんなも成長したと思います。あまり活発ではない性格だったのですが、ヲタ芸にチャレンジしたいと思い、運にも恵まれてヲタ芸をすることになりました。しかし、ヲタ芸の振り付けを自分達で考え、いざ練習となったときにすごく苦戦しました。でも自分がやりたいから参加したヲタ芸を、諦めるわけにはいけないので、必死に練習し、放課後も毎日練習しました。本番では、すごく緊張したけれど、いい意味でキモくなるように頑張りました。席に戻ったときに周りから暖かい言葉をもらって、ヲタ芸で良かったなと思いました。

来年は3年生になり、最後の文化祭になります。今年と同じく裏方の仕事ではなく、舞台上で活躍したいと考えているので、今年の3年生を超えるような良い文化祭にしたいと思います。

2組 さん

3・4組は次号で紹介！

職体に向けて活動中！！

先日より職業体験に向けて冊子作製や説明、電話の練習を行いました。

明日は事業所ごとに集まり、事前打ち合わせに向けて動き始めます！

**明日、職業体験の冊子を
必ず忘れないように！！**

友呂岐中学校の〇〇と申します。
職業体験の打合せで電話しました。
△△様はおられますか？

△△は席を外しております。

